あしがら農の会

通信　10月号

第126号　　2012年 10月9日発行
発行　NPO 法人 あしがら農の会
ホームページ　http://nounokai.com/
代表　松本 邦裕　090-1735-3748(携帯)
編集　石井 智子　0465-32-1467(TEL/FAX)
bombalurina@savanna.dti.ne.jp

地場　旬　自給

あしがら農の会はあしがら地域に様々な循環を作りたいとの思いから、地場、旬、自給を掲げて、1993年に設立されました。(2003年にNPO法人化)
地域の中の休耕田を借りて自給のための米作りから始まった会は、現在以下のような活動を行っています。

農産物の宅配： 会に賛同する野菜の生産者と、地域で自給の為の野菜の作り手が集まって、無農薬・無化学肥料栽培の野菜宅配を行っています。(その他、米、お茶、果実、卵、鶏肉、豚肉などもあります)

田んぼの会： 現在約１００家族以上が、あしがら平野の13カ所で自給用の稲を育てています。

お茶の会： 山に戻ってしまうお茶畑を、市民で手入れできないかと始まりました。５月には参加者約100名が、各自１年分のお茶を摘み取ります。

大豆・味噌の会： 大豆は７月に苗作りから始まり、11月に収穫します。その大豆と、各自が田んぼの会で作っているお米で、１月には麹づくりから味噌作りを行っています。

小麦の会： 月１キロの小麦の自給を目指します。

その他、四季折々の行事を行っています。関心のある方はどなたでも参加できます。

● MOA（小田原有機農法研究会）●

有機の仲間たち ～其の十～

小田原に於いては「小田原有機農法研究会」として、有機農業に取り組んでいるMOAの活動と、静岡県にある研究農場について、ご紹介させていただきます。※

MOA（Mokichi Okada Association）は、1935 年に、岡田茂吉が提唱した自然農法の普及と健康増進に取り組んでいる団体です。

自然農法とは、地球をひとつの生命体と考え、永続性のある自然循環型の農業方式で、農薬や化学肥料に頼らないだけではなく、土や作物が本来持っている力を充分に発揮させる農業です。

少し堅い話から入りましたが、その自然農法を実際に、見ていただける研究農場の大仁農場を紹介しましょう。大仁農場は、小田原市から車で 1 時間、静岡県伊豆の国市浮橋にあります。国内では、最大の有機農業関連の研究農場です。 総面積は１３０ヘクタールで、自然農法の水稲、野菜、果樹、花卉などの栽培と畜産を行い、適地適作、物質循環の研究、共栄作物や忌避作物、天敵の利用などによる病害虫が多発しない環境づくりと、連作、輪作、中耕、敷き草などの耕種的方法による雑草対策の研究を行っています。

畜産においても、乳牛の放牧や鶏の平飼いなどの飼育環境を整え、ストレスを与えない自家製や国内産の飼料を与えるように努め、動物にやさしく、人にも優しい畜産物を生産しています。

その様な中で大仁農場が一番大切にしているのは、実際に自然農法を実施される農家の方々の貴（たか）い志、技術とまごころです。

有機農法や自然農法のお米や野菜を手に取ると、温かみがあります。作っていただいた人の、人の健康と幸せを願うまごころが、伝わってきます。

そんなお米や野菜などの農産物で幸せな家庭を作りたいと願っています。

そんな大仁農場へ、是非一度ご来場ください。

大仁農場「健康と秋の収穫まつり」※※

２０１２　11月10（土）～12（日）日

文責　一般社団法人　MOA自然農法文化事業団
業務執行理事　渡辺　宏一

※「小田原有機の里づくり協議会」会員です。
※※「健康と秋の収穫まつり」については、通信裏面をご覧ください。